



たかあき通信

～ 9月定例会及び12月定例会市政報告書～

発行責任者：
無所属会派『越谷刷新クラブ』
越谷市議会議員 のぐち高明
〒343-0032
埼玉県越谷市袋山 2039
Tel:048-919-2772
Mail:otoiwase.noguchitakaaki@gmail.com

2020.1
Vol.2

※右のQRコードを読み取ると私の一般質問動画一覧、並びに議事録が表示されます。動画はWi-Fiでの視聴をお勧めします。

【9月定例会の一般質問項目】

- 1 大袋駅周辺地域における30年後を見据えたまちづくりについて
 - ① 東武伊勢崎線の北越谷駅以北の高架化延伸について
 - ② 大袋駅東口駅前広場の整備について
 - ③ 都市計画道路袋山恩間線の整備について
- 2 越谷市公式ホームページについて
 - ① リニューアル後の評価について
 - ② 今後の方向性について
- 3 越谷市職員の人材育成について
 - ① 入庁から退職までの成長戦略について

《主なやりとり》

Q 第4次総合振興計画にも記載されている北越谷以北の高架化は、実施に向けて具体的に行動されているのか。されているのであれば、その内容を。

A 道路交通の流動性や周辺の土地利用などを的確に把握し、事業の費用対効果や今後の人口減少などの社会情勢を総合的に勘案する必要があるものと考えている。今後については、引き続き東武鉄道に対して協議会を通じた要望活動を行うとともに、諸課題解決に向け長期的な視点で検討を行っていく。

【要望】本市単独として協議会のテーブルの上にまずは上げてほしい。そして、まずは高架化の試算をしていただき、その試算を市民の方々にお示しいただきたい。

Q 大袋駅東口駅前広場の整備について、現在の進捗状況と今後の計画の進捗の見込みは？

A 今年6月22日に地元関係自治会等に土地所有者や利用者をも含めた大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会が設立され、地区にふさわしいまちづくりを検討することとなった。会員の協力を得ながら、今後も継続的に大袋駅東口駅前広場も含めた周辺地区のよりよいまちづくりの検討を行っていく。

【要望】会員の方々は自治会長や地元の住民であり、都市計画の仕組みや事業費がどのくらいかかるのかなど、具体的な方法について深く精通されている方は少ない。都市計画のプロである市側から、全国各地に見られる先行事例等も探し、さまざまなプランを幅広くテーブルの上に並べて検討していただきたい。



のぐち 高明
一般質問動画一覧



のぐち 高明
一般質問議事録



※イラストはイメージです。

〔感想〕初当選後、6月・9月・12月と議会を終えて、越谷市の実情、議会内の様子など徐々に見えてきております。3月議会は各会派代表による代表質問のスケジュールになります。私個人の一般質問はございませんが、予算特別委員会の委員として会派より指名をしていただきました。3月4日(水)から10日(火)までの平日5日間で開催されます。今から勉強し、実りある質疑ができるよう精進します。お時間ある方は是非、傍聴にいらしてください。

【12月定例会の一般質問項目】

- 1 せんげん台駅周辺における内水氾濫対策について
 - ① 市が把握している現状について
 - ② 今後の整備について
- 2 水害時における避難勧告等の判断・発令の時機について
 - ① 台風19号における市の対応について
 - ② 避難所開設について
 - ③ 今後の課題について
- 3 庁内サーバのクラウド化について
 - ① 庁内サーバの現状について
 - ② 本市におけるクラウド化に向けた取組について



《主なやりとり》

Q 台風19号において、再び冠水をしたせんげん台駅周辺における内水氾濫に対する今後の整備について、どうお考えか？

A 令和2年度末完成を目指している東武鉄道の橋梁架け替え工事に付随して応急ポンプを毎分6m³から毎分18m³に排水能力を增強している。今後は整備予定の樋門に併せて毎分48m³のポンプ設置を県と協議中である。

Q 駅前ロータリーや近隣の公園等に地下貯留施設を設ける考えは？

A これまで実施してきた浸水シミュレーションを活用した検討結果からポンプ増強の効果を確認している。地下貯留施設についても効果は把握しているが、想定を超える降雨が多発していることから、設置規模、設置場所等については調査検討していく。

Q 台風19号の対応においてレベル3である「高齢者等避難準備」が発令されたのが、風雨ともにピークともいえる午後8時30分であったが、その理由は？

A 本市は平坦な低地で皿状の水がたまりやすい地形であることから、ひとたび各河川が氾濫した場合、市内のほぼ全域で浸水の可能性がある。そのため、「垂直避難」や「在宅避難」を推奨している。今回は、多くの避難場所がテレビの報道等で繰り返し早めの避難が促されたこともあり、多くの市民の皆さんが危機意識をお持ちになっており、さまざまなご意見やご要望をいただいた。その一方で、「垂直避難」や「在宅避難」も本市の特性に応じた避難行動の1つであるが一般的にあまり認知されていない。それらの周知が今後の課題である。今後は、振り返り調査の結果等を検証し、迅速な情報配信や、円滑な避難所開設が行えるよう、より実効性のある体制の整備や強化を図っていく。

【要望】現在、市民協働部配下に危機管理課があるが、埼玉県や川崎市と同様に危機管理部門を独立させ、各部との連携をより迅速にできるよう検討していただきたい。

※この報告書は費用を抑えるため、のぐち高明本人が作成から印刷まで行なっております。イラストはフリー素材です。Instagram/LINE@/Facebook/Twitter等にて随時発信しております。QRからフォローよろしくお願いいたします。

『のぐち高明プロフィール』

1982年（昭和57年）6月5日生まれ 37歳
野口学院を経営する両親の元、長男として生まれる。
しらこぼと幼稚園／越谷市立大袋北小学校／私立城北中学校／
私立城北高等学校／東京理科大学経営学部／
元川口市役所行政職員
心身障害福祉センターわかゆり学園／情報政策課
介護保険システム管理・市公式ホームページ構築庁内担当等
平成最後の越谷市議会議員選挙（2019年4月21日執行）
にて地域の皆様に支えられ初当選（1期目）
無所属会派『越谷刷新クラブ』に加入
政治信条『地域密着・地元貢献・政治は地元地域から』
趣味『テニス・ゴルフ・クライミング・コーヒー・畑』

